

FeliSafe[®] for Windows

(Model : YESW - F53WA)

Ver.9.0

ユーザーズマニュアル



第 15 版
2010 年 6 月 21 日

Yutaka Electric Mfg.Co.,Ltd.

Windows NT / 2000 / XP / 2003 / Vista / 2008 / 7、Windows 95 / 98 / 98SE / ME は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
FeliSafe® は、株式会社ユタカ電機製作所の登録商標です。

1. 本書および本ソフトウェアは、株式会社ユタカ電機製作所が著作権を保有しています。
2. 本書および本ソフトウェアの内容の一部あるいは全部について複写、複製することは禁じられております。
3. 本書または製品の内容につきましては、将来予告無しに変更することがあります。
4. 製品の取り扱いにつきましては、取扱説明書などをよくお読みください。
5. 製品の内容につきましては万全を期しておりますが、万一不可解な点や、誤り、お気付きのことがありましたら、御一報くださいますようお願いいたします。
6. 運用の結果の影響については上記事項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

目次

| | |
|---|----|
| 1. <i>FeliSafe for Windows</i> について..... | 4 |
| 1.1. <i>FeliSafe for Windows</i> ご使用にあたって..... | 4 |
| 1.2. <i>FeliSafe</i> ® for <i>Windows</i> について..... | 4 |
| 1.2.1. 概略..... | 4 |
| 1.2.2. 機能..... | 4 |
| UPS 電源状態監視および自動シャットダウン..... | 4 |
| 電源異常等の事象の記録と通知..... | 4 |
| 電源状態のモニタリング..... | 4 |
| 定時設定..... | 4 |
| カレンダー設定..... | 4 |
| 1.2.3. <i>FeliSafe</i> によるシャットダウン処理の流れ（停電、スケジュール等）..... | 5 |
| 1.2.4. 動作環境..... | 6 |
| 2. <i>FeliSafe for Windows</i> のインストール..... | 7 |
| 2.1. インストール前の注意点..... | 7 |
| 2.1.1. コンピュータと UPS の接続..... | 7 |
| UPS 通信用 インタフェースケーブルの接続..... | 7 |
| UPS の設定と電源の接続..... | 7 |
| 2.1.2. コントロールパネルの設定は不要です..... | 7 |
| 「シリアルポート」の設定は不要です..... | 7 |
| OS 標準 「無停電電源（UPS）」及び、「電源オプション」は使用しないでください..... | 7 |
| 2.1.3. インストール権限..... | 8 |
| インストール全般..... | 8 |
| 以前のバージョンからバージョンアップされる場合..... | 8 |
| 2.1.4. 既に旧「 <i>FeliSafe/50</i> 」「 <i>/60</i> 」がインストールされている場合..... | 8 |
| <i>FeliSafe</i> シリーズ「 <i>FeliSafe/50</i> 」「 <i>/60</i> 」が既にインストールされている場合..... | 8 |
| 2.2. インストールプログラムの起動と実行..... | 9 |
| 2.2.1. インストールプログラムの起動..... | 9 |
| Windows 2000 / XP / 2003 / Vista / 2008 / 7 の場合..... | 9 |
| 2.2.2. インストールプログラムの実行..... | 9 |
| インストール場所の指定..... | 10 |
| UPS 接続ポートの指定..... | 10 |
| スタートメニュー（プログラムマネージャ）へのグループの登録..... | 10 |
| 2.3. プログラムの削除（アンインストール）..... | 11 |
| 3. <i>FeliSafe UPS</i> 監視プログラムの起動..... | 12 |
| 3.1. OS ごとの起動方法..... | 12 |
| Windows 2000 / XP / 2003 / Vista / 2008 / 7 の場合..... | 12 |
| 4. <i>FeliSafe</i> コントロールモニタの説明..... | 13 |
| 4.1. <i>FeliSafe</i> ®コントロールモニタ起動、終了..... | 13 |
| 4.1.1. コントロールモニタの起動方法..... | 13 |
| 4.1.2. コントロールモニタの終了方法..... | 13 |
| 4.2. <i>FeliSafe</i> ®コントロールモニタの表示内容..... | 14 |
| 状態表示..... | 14 |
| 状態数値..... | 15 |
| アイコン表示..... | 15 |
| アイコン表示..... | 16 |
| 4.3. メニュー操作..... | 17 |
| 4.3.1. シャットダウン メニュー..... | 18 |

| | |
|--|-----------|
| 4.3.1.1. 設定 | 18 |
| 4.3.1.2. 定時設定 | 19 |
| 4.3.1.3. スケジュール | 21 |
| 4.3.1.4. 自動終了 | 25 |
| 4.3.1.5. シャットダウン取消 | 25 |
| 4.3.1.6. リモートシャットダウン | 26 |
| 4.3.2. 設定 メニュー | 30 |
| 4.3.2.1. UPS 設定 | 30 |
| 4.3.2.2. イベント設定 | 30 |
| 4.3.3. 計測記録 メニュー | 33 |
| 4.3.3.1. 設定 | 33 |
| 4.3.3.2. 確認 | 34 |
| 4.3.4. テスト メニュー | 35 |
| 4.3.4.1. 寿命診断 | 35 |
| 4.3.5. ヘルプ メニュー | 35 |
| 4.3.5.1. FeliSafe ヘルプ | 35 |
| 4.3.5.2. FeliSafe について | 35 |
| 5. シャットダウン動作について | 36 |
| 5.1. FeliSafe® for Windows によるシャットダウン | 36 |
| 5.2. FeliSafe® for Windows 以外でシャットダウンを行った場合 | 36 |
| 5.3. シャットダウン取り消しを行った場合 | 36 |
| 5.4. 設定時間以外の起動 | 36 |
| 5.5. UPS タイマーの限界について | 36 |
| 6. ご利用いただく際の注意点 - 必ずお読みください | 37 |
| 6.1. UPS - HYPER シリーズをご利用の場合 | 37 |
| 6.2. Windows システムをネットワーク接続せずに単体で使用する場合の注意点 | 37 |
| 6.3. UPS の電源供給に連動し、コンピュータを起動させるには | 37 |
| 6.4. アクティブ デスクトップについて | 37 |
| 6.5. 「定時設定」のシャットダウン時刻の設定について | 37 |
| 6.6. OS の「省電力モード」及び、「システムスタンバイ・モード」では使用できません | 37 |
| 7. 仮想ネットワーク・アダプターの追加 (SERVER 系 OS) | 38 |
| < Windows 2000 の場合 > | 38 |
| < Windows XP / 2003 / Vista / 2008 / 7 の場合 > | 45 |

1. FeliSafe® for Windows について

1.1. FeliSafe for Windows ご使用にあたって

ソフトウェアの使用前に、必ず別紙の「ソフトウェア使用許諾契約」をお読みください。
お客様が本契約に御承諾頂けないときには、ご使用前にお買い求めになった販売店へご返却ください。
ご注意

インストール用メディア開封後の返却は、一切お受けしませんのでご了承ください。

1.2. FeliSafe® for Windows について

1.2.1.概略

FeliSafe® for Windows は、Windows システム上で稼動する、ユタカ電機製作所製 UPS 専用の電源管理プログラムです。

Windows のサービスプログラムとして、接続されている UPS を常に監視し、UPS に異常が発生した場合は、即座に Windows のシャットダウン処理を行うと共に、UPS の停止を行います。

また、UPS の各種状態の表示、記録を行うことにより UPS の状態を動的に把握することが可能です。停電発生など、Windows を終了しなければならない状態になった場合に FeliSafe® for Windows はイベント設定による処理、通知を行いシャットダウン処理 (2 ページ)を行います。

1.2.2.機能

UPS 電源状態監視および自動シャットダウン

UPS 監視ソフトは、常に接続されている UPS を監視し、UPS に異常が発生した場合は即座に OS のシャットダウン処理を行うとともに UPS を停止します。

停電 / 電源復旧などのイベントに対して特定のプログラムを実行するように設定することも可能です。

電源異常等の事象の記録と通知

停電・電源復旧・シャットダウン開始等の事象の検出と、各イベントに設定されたプログラムの起動を記録できます。また、ネットワーク上のコンピュータに、各イベントの通知をすることも可能です。

電源状態のモニタリング

モニタプログラムにより、電源状態をリアルタイムに表示しますので、動的な電源状態の把握が可能です。

定時設定

毎日の定時にシャットダウン及び、電源投入を行うように設定する機能です。朝に自動起動して、夜に自動シャットダウンするといった運転が可能です。

カレンダー設定

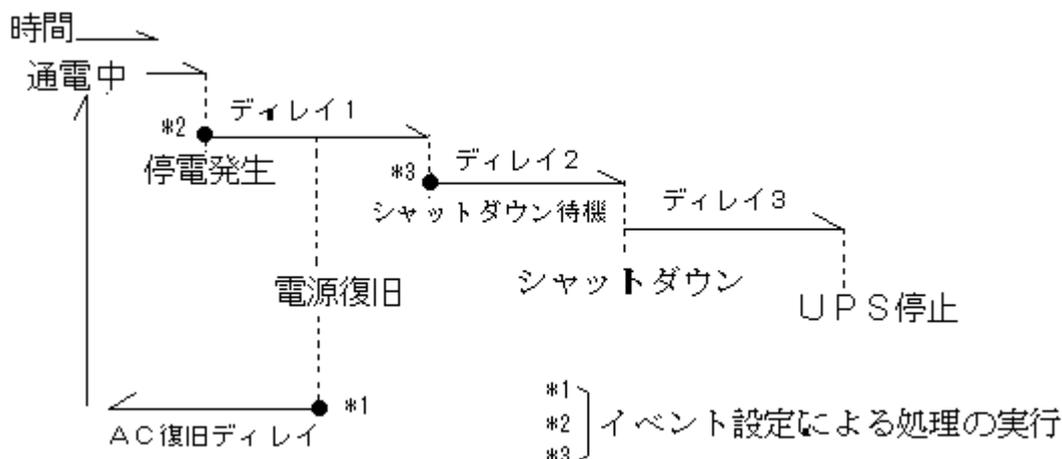
指定日のシャットダウン及び、電源投入を行うように設定する機能です。シャットダウンを行う日時と、電源再投入を行う日時を個別に設定が可能です。

1.2.3. FeliSafe によるシャットダウン処理の流れ(停電、スケジュール等)

FeliSafe のシャットダウン処理が始まる条件には、下記のものが有ります。

1. UPS が停電を検出した場合。
2. 「スケジュール」設定や「定時設定」によるシャットダウン時刻に到達した場合。
3. UPS の前面パネルスイッチ操作(UPS が「STOP コマンド」モード時)をした場合。
4. UPS の異常(回路異常)

停電が発生した場合、以下のようなタイムチャートで処理を行います。



- デレイ1

：シャットダウンデレイ1（停電が発生した場合の電源の復旧待機時間）

- ・UPS から「AC 停電発生」を受信すると、システムを終了させる為に、「デレイ1」に設定された待機時間に入ります。この待機時間にて、電源の復旧を待ちます。電源が復旧した場合は、FeliSafe は終了処理を中止し、動作状態を「AC 電源復旧」とし、その後「AC 通電中」に戻します。

「デレイ1」の間に電源が復旧されない場合、もしくは、「デレイ1」の間にUPS のバッテリー残量が少なくなった場合、「デレイ2」に入り、「シャットダウン待機」状態になります。

- デレイ2

：シャットダウンデレイ2（デレイ1後のシャットダウン待機時間）

- ・「デレイ2」は、システムを終了する前の待機時間になります。この待機時間を利用して、システムの終了前処理などを行ってください。なお、この待機時間内に電源が復旧されても、終了処理はキャンセルされません。「デレイ2」の設定時間を待機後、UPS に停止命令（「デレイ3」の設定時間）を実行し、その後、システムの強制シャットダウンを開始します。（シャットダウン実行の際、作業途中のアプリケーションや未保存データが存在しても強制的にシャットダウンを行います。データ保存等はいりません。）
- ・電源異常以外の FeliSafe シャットダウンの場合は、「デレイ2」からの処理になります。

- デレイ3

：シャットダウン後UPS 停止（デレイ2後のUPS 停止待機時間）

- ・「デレイ3」は、UPS が停止するまでの時間です。この待機時間を経過後、UPS が停止し、UPS からの電源供給を停止します。

「AC 停電発生」や「シャットダウン待機」などの各イベントには、イベント設定メニューにて、メッセージの通知やコマンドの実行などを設定することができます。

停電によりUPS が停止した後の電源復旧によるUPS 動作（起動/停止継続）は、復電動作にて設定することができます。

1.2.4.動作環境

“FeliSafe® for Windows Ver.9.0”は以下の環境で動作いたします。

対応OS

- ・ Microsoft Windows 2000
- ・ Microsoft Windows XP Professional / Home (機能制限あり)(*1)(*2)
- ・ Microsoft Windows Server 2003 (機能制限あり)(*1)
- ・ Microsoft Windows Vista (機能制限あり)(*1) (*2) (*3) (*4) (*5)
- ・ Microsoft Windows Server 2008 (機能制限あり)(*1) (*2) (*3) (*4) (*5)
- ・ Microsoft Windows 7 (機能制限あり)(*1) (*2) (*3) (*4) (*5)

機能制限事項

(*1) : WindowsXP 以降の OS では下記機能が機能しません。

- シャットダウンメニュー/リモートシャットダウンのネットワークコンピューター一覧表示
- 設定メニュー/イベント設定の中の通知先「全部」

(*2) : 「Windows XP ServicePack1」「Windows Vista」以降の OS では
リモートシャットダウン機能が使用できません。

- シャットダウンメニュー/「リモートシャットダウン」
 - ・ 「Windows Vista」以降の OS では、セキュリティ機能によりリモートシャットダウン機能は使用できません。
 - ・ Windows XP ServicePack1 には一部問題があり、コンピュータがログオフ状態にあると、シャットダウンが実行されません。
(この問題は、リモート元とリモートされる側のコンピュータに影響します。)

(*3) : 「Windows Vista」以降の OS ではメッセージ通知機能が使用できません。

- 設定メニュー/イベント設定の中の「通知処理動作」
 - ・ 「Windows Vista」以降の OS には、「Messenger」機能が無い為メッセージ通知が機能しません。

(*4) : 「Windows Vista」以降の OS ではイベントコマンド機能に
対話型プログラムを指定できません。

- 設定メニュー/イベント設定の中の「コマンドの実行」
 - ・ 「Windows Vista」以降の OS には、対話型のプログラム (notepad.exe 等) を指定すると、システムより実行確認の為のメッセージが表示され、プログラムは実行されません。

(*5) : 「Windows Vista」以降の OS では FeliSafe モニターの使用に制限があります。

- ・ FeliSafe モニターの使用はインストールユーザのみとなります。
- ・ FeliSafe モニターを起動する際に、「管理者として実行」を指定する必要があります。

必要機能

- ・ シリアル通信ポート (RS232C、D-Sub9 ピン)
- ・ ネットワーク・プロトコル (TCP/IP または 仮想アダプター (MS Loopback) など)

CPU

- ・ 上記 OS が動作可能な Intel 製プロセッサ

UPS (FeliSafe 対応製品 (2010 年 6 月現在))

- ・ UPS-HUL シリーズ

2. FeliSafe[®] for Windows のインストール

2.1. インストール前の注意点

2.1.1. コンピュータと UPS の接続

インストールの前に以下の手順で UPS とコンピュータの接続をしておいてください。

UPS 通信用 インタフェースケーブルの接続

同梱のケーブルにて、コンピュータのシリアルポート (COM ポート) と、UPS 背面の "I/F" ポート (RS232C) を接続してください。

コンピュータ側のシリアルポートは、FeliSafe[®] for Windows のインストール時に指定する必要がありますので、接続したポートを確認しておいてください。

ケーブルが不用意に外れないようコネクタは必ずネジ止めしてください。

UPS の設定と電源の接続

以下の手順で UPS の設定と電源接続を行なってください。

コンピュータの電源コードを UPS の背面のコンセント (UPS OUTPUT) に接続してください。

ハードディスク等の周辺機器および、停電発生時に電源のバックアップが必要な周辺装置の電源コードも、UPS のコンセントに接続してください。

UPS の電源入力コードを UPS の背面の INPUT コネクタに接続してください。

UPS の電源入力コードをコンセントに接続してください。

UPS の電源スイッチを投入 (ON) してください。

各 UPS の電源コードの詳細については、それぞれの UPS の取扱説明書を参照してください。

電源容量の関係から、プリンタ等停電時に停止しても差し支えない周辺装置の電源は、一般のコンセントに接続することをお勧めします。

2.1.2. コントロールパネルの設定は不要です

「シリアルポート」の設定は不要です

シリアルポート設定の速度などの設定は、FeliSafe の動作には影響しませんので、特に設定の必要はありません。

詳細設定にある IO ポートアドレスと割り込み番号の設定は、正常にシリアルポートが使用できるよう、重複等が起きていないか確認してください。

OS 標準「無停電電源 (UPS)」及び、「電源オプション」は使用しないでください

FeliSafe を使用する場合、OS の「コントロールパネル」内の「無停電電源 (電源オプション)」は、使用しないでください。FeliSafe は正常に動作いたしません。

システムに「無停電電源 (電源オプション)」が存在しない場合は問題ありません。

2.1.3.インストール権限

インストール全般

- ・ FeliSafe for Windows のインストールは、「administrator」もしくは同等の権限（サービス機能を実行できる権利）を持ったユーザーでログオンし、インストールしてください。

以前のバージョンからバージョンアップされる場合

バージョンアップする場合は、古いバージョンをアンインストールしてください。その後、新規にプログラムをインストールしてください。なお、設定内容は引き継がれませんので再設定をお願いします。

2.1.4.既に旧「FeliSafe/50」「/60」がインストールされている場合

FeliSafe シリーズ「FeliSafe/50」「/60」が既にインストールされている場合

「FeliSafe」と「FeliSafe/50」「/60」は、同じコンピュータ内で使用する事はできません。「FeliSafe」を使用する場合、既にインストールされている「FeliSafe/50」「/60」をアンインストールした後に、「FeliSafe」をインストールしてください。

2.2. インストールプログラムの起動と実行

2.2.1. インストールプログラムの起動

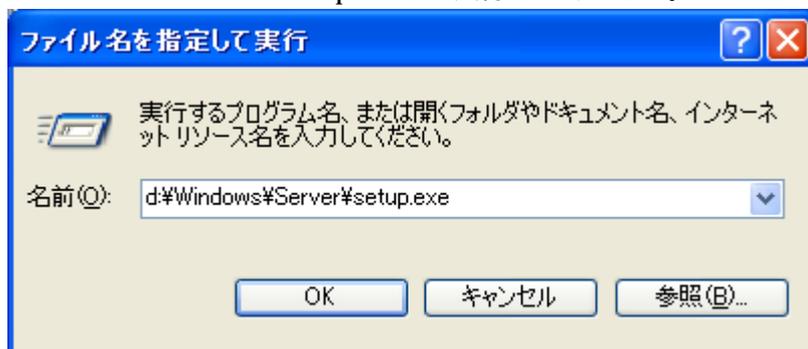
FeliSafe® のインストールディスクを挿入し、インストールプログラム(setup.exe)を実行することによりインストールを開始します。

古いバージョンよりバージョンアップされる際は、古いバージョンのプログラムをアンインストール後、新規にインストールしてください。

Windows 2000 / XP / 2003 / Vista / 2008 / 7 の場合

FeliSafe® for Windows のインストールは administrator もしくは同等のサービス機能を実行できる権利のあるユーザでログオンした状態で行ってください。

インストール・プログラムの起動は、「ファイル名を指定して実行」または、エクスプローラにて、CD-ROM の「¥Windows¥Server¥setup.exe」を実行してください。



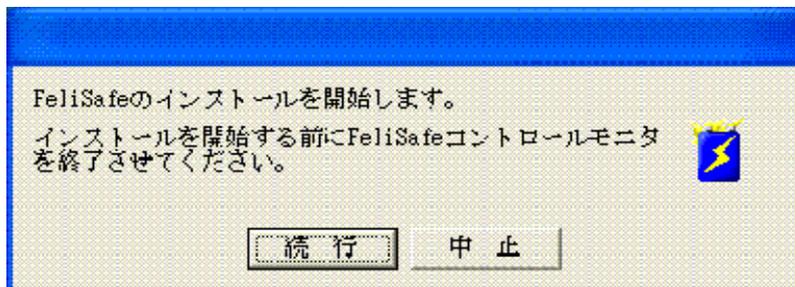
上記の例はインストールディスクをセットしたドライブが“D”ドライブの場合です。お使いのシステムにあったドライブに変更してください。

「Windows Vista」以降の OS では、インストール・プログラムを起動した際に、警告メッセージが表示されますが、「実行」や「許可」を選択し、進めてください。

「Windows Vista」以降の OS の場合、FeliSafe モニターの使用は「インストールユーザのみ」となります。

2.2.2. インストールプログラムの実行

インストールプログラムが起動されると下記のような確認ウィンドウが表示されます。



インストールの際には FeliSafe コントロールモニタを終了させていない場合にはこの段階で「中止」して FeliSafe コントロールモニタを終了後に再度インストール作業を行ってください。インストール中に「Cancel」ボタンによって作業の中断が可能ですが、中断を行うことにより不要なファイル等が残ることがございますので特に必要のない場合は中断を行わないでください。

インストール場所の指定

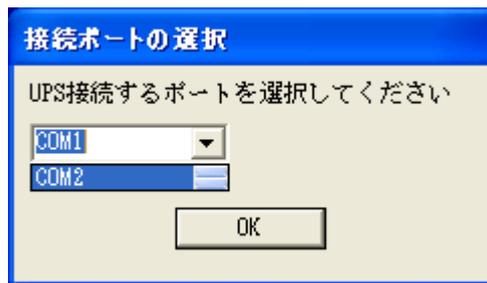
SETUP.EXE が起動しますとインストールディレクトリを確認してきますので必要ならばインストールするディレクトリを入力し直してください。

[OK] ボタンをクリックしますとインストールを開始し、ファイルのコピーが始まります。



UPS 接続ポートの指定

「接続ポートの選択」画面が表示されますので、UPS を接続しているポートを選択し、OK を押してください。



スタートメニュー(プログラムマネージャ)へのグループの登録

インストールの最後に、下記のような画面が表示されます。必要がある場合は、グループ名等を変更してください。



以上で FeliSafe® for Windows のインストールは完了です。

2.3. プログラムの削除（アンインストール）

FeliSafe は、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」より、「FeliSafe for Windows」を選択し、「変更と削除」を実行してください。
削除終了後は、コンピュータの再起動が必要です。

FeliSafe を使用しない場合及び、使用を中断する場合。または、UPS を外した場合は、プログラムの削除を実行してください。

「Windows Vista」以降の OS では、削除プログラムを起動した際に、警告メッセージが表示されますが、「実行」や「許可」を選択し、進めてください。

3. FeliSafe[®] UPS 監視プログラムの起動

3.1. OS ごとの起動方法

Windows 2000 / XP / 2003 / Vista / 2008 / 7 の場合

FeliSafe[®] for Windows は、サービス・プログラムとして動作しますので、OS が起動する際に自動起動します。

注) インストール作業後にOSの再起動を行わない場合、“FeliSafe[®] for Windows”のサービス・プログラムは実行されていません。この場合、後ほどOSの再起動を行うか、OSの「サービス」マネージャを利用し、“FeliUPS”サービスを「開始」してください。

OSの「サービス」マネージャの起動

- Windows2000 / 2003 / XP / Vista / 2008 / 7 の場合

「コントロールパネル」(クラシック表示) / 「管理ツール」 / 「サービス」を起動します。

通常 FeliUPS はシステムアカウントで実行されます。

このままで基本的な動作に支障はございませんが、必要に応じて実行アカウントの変更を行ってください。

実行のアカウントが影響するのはリモートシャットダウン、ログファイルの記録およびイベント時のコマンド実行です。

FeliUPS サービスの各種動作設定や動作状況の確認は FeliSafe[®] コントロールモニタにより行います。

4. FeliSafe[®]コントロールモニタの説明

4.1. FeliSafe[®]コントロールモニタ起動、終了

4.1.1. コントロールモニタの起動方法

システムの「スタート」メニューから「プログラム」メニューに入り、「FeliSafe ~」グループより、「FeliSafe monitor」を選択します。



これにより、タスクトレイ内に FeliSafe のアイコンが表示されます。コントロールモニタを表示する場合は、タスクトレイ内の FeliSafe アイコンを「ダブルクリック」するか、アイコン上で左ボタンをクリックし、表示されるメニューの中から、「元のサイズに戻す」を選択してください。



「Windows Vista」以降の OS の場合

プログラム起動メニューにて、右クリックメニューを表示し、「管理者として実行」から起動してください。警告メッセージが表示されますが、そのまま実行してください。FeliSafe モニターの使用はインストールユーザのみとなります。

FeliSafe モニターを使用する場合、ネットワーク環境（または 仮想ネットワーク環境）が必要です。

4.1.2. コントロールモニタの終了方法

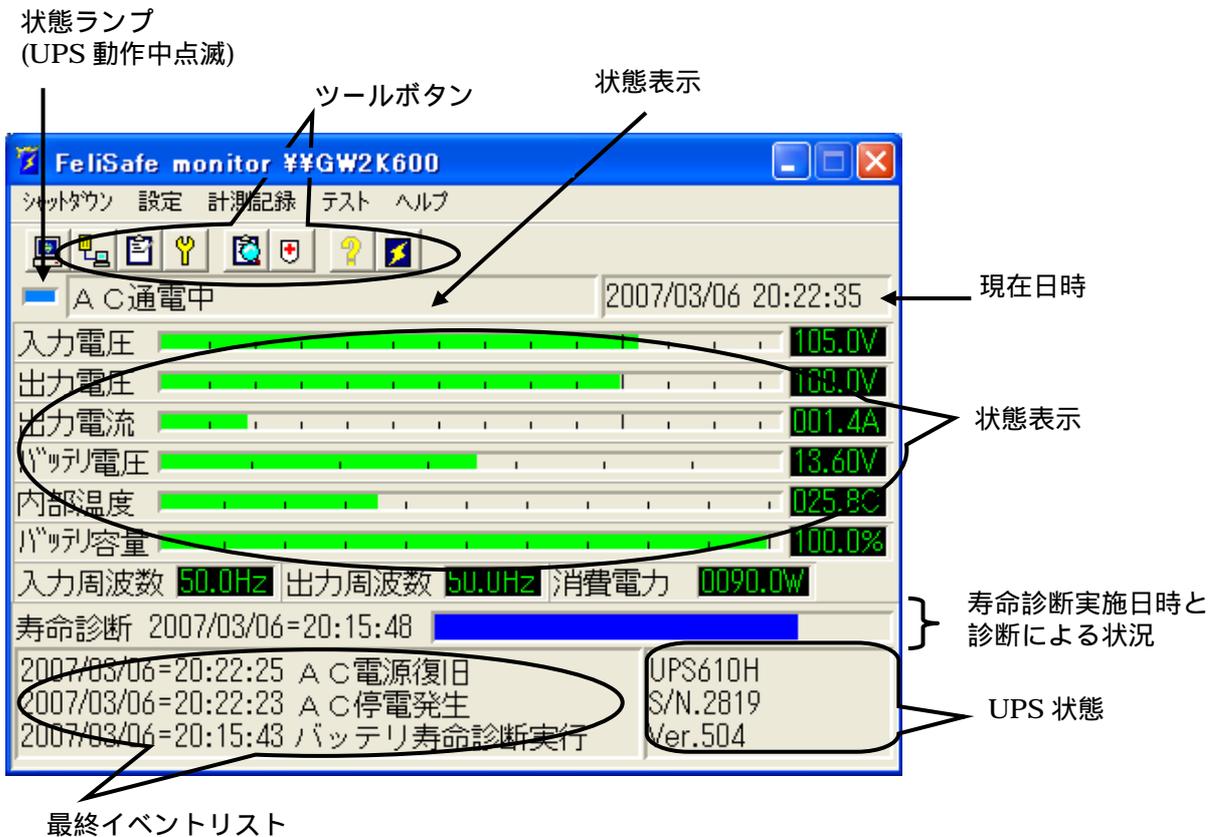
FeliSafe モニターが表示されている場合は、モニターのタイトルバー右端の「x」ボタンを押すか、タイトルバー左端の FeliSafe アイコンマークをクリックし、表示されたメニューより、「閉じる」を選択してください。

タスクトレイ内に格納されている場合は、アイコン上で左ボタンをクリックし、表示されるメニューから「閉じる」を選択してください。



4.2. FeliSafe[®]コントロールモニタの表示内容

通常のウィンドウ表示状態には下図のような情報を表示します。



状態表示

UPS の動作状態および FeliUPS の動作状態が表示されます。
状態表示欄に表示されるの項目と意味は、以下のとおりです。

| | |
|-----------------|--|
| FeliUPS 動作開始 | FeliUPS 動作開始中です。 |
| FeliUPS 動作失敗 | UPS の動作開始に失敗した場合の表示です。 |
| UPS 接続失敗 | UPS との通信に失敗した場合の表示です。 |
| A C通電中 | 正常動作状態の時の表示です。 |
| A C停電発生 | 停電が発生した場合の表示です。 |
| A C電源復旧 | 停電発生後に電源が再投入された場合の表示です。 |
| バッテリー限界 | バッテリーの限界になった場合の表示です。 |
| UPS オペレーション OFF | UPS の前面 OPERATION スイッチ OFF またはオプションの手元スイッチ OFF 動作時に表示されます。 |
| 自動終了実行 | 自動終了実行時の表示です。 |
| タイマーシャットダウン | タイマー動作(定時、スケジュール)によるシャットダウン実行の表示です。 |
| シャットダウン待機 | シャットダウン開始までの待ち状態の場合の表示です。 |
| シャットダウン開始 | シャットダウン開始時の表示です。 |
| シャットダウン取消し | シャットダウンの取消しを行った場合の表示です。 |
| モニタ間隔変更 | UPS のモニタ間隔の変更が行われた場合の表示です。 |
| 回路異常発生 | UPS の内部回路に異常が発生した場合の表示です。 |
| 入力電圧低下 | 入力電圧が規定値を下回った場合の表示です。 |

| | |
|-------------|--|
| 入力電圧超過 | 入力電圧が規定値を超えた場合の表示です。 |
| 出力電圧低下 | 出力電圧が規定値を下回った場合の表示です。 |
| 出力電圧超過 | 出力電圧が規定値を超えた場合の表示です。 |
| 出力電流超過 | 出力電流が規定値を超えた場合の表示です。 |
| バッテリー電圧低下 | バッテリー電圧が規定値を下回った場合の表示です。 |
| バッテリー電圧超過 | バッテリー電圧が規定値を超えた場合の表示です。 |
| バッテリー温度低下 | バッテリー温度が規定値を下回った場合の表示です。 |
| バッテリー温度超過 | バッテリー温度が規定値を超えた場合の表示です。 |
| バッテリー容量低下 | バッテリー容量が規定値を下回った場合の表示です。 |
| バッテリー容量超過 | バッテリー容量が規定値を超えた場合の表示です。 |
| バッテリー寿命診断実行 | バッテリー寿命診断を行った場合の表示です。 |
| バッテリー寿命警告 | バッテリー寿命診断結果が警告規定値を下回った場合の表示です。 |
| バッテリー寿命異常 | バッテリー寿命診断結果が異常規定値を下回った場合の表示です。 |
| 未接続 | UPS 監視プログラム (FeliUPS) と接続されていない場合の表示です。 (FeliUPS が正常に動作していない可能性があります。) 尚、FeliSafe モニターは情報表示させる為に、ネットワーク・プロトコルを使用します。コンピュータをネットワークに接続しない場合でも、「NetBUIE」または、「MS LoopBack Adapter」を追加してください。 |

状態数値

現在の UPS の状態が数値表示されます。各数値の規定値は以下のとおりです。

| UPS 状態数値規定値 | |
|-------------|---------------|
| 入力電圧 | 85V ~ 115V |
| 出力電圧 | 90V ~ 110V |
| 出力電流 | 0% ~ 110% |
| バッテリー電圧 | 11.3V ~ 15.0V |
| 内部温度 | 0 ~ 40 |
| バッテリー容量 | 10% ~ 100% |
| バッテリー寿命警告 | 30%以下 |
| バッテリー寿命異常 | 0% |

状態数値ゲージ

状態数値ゲージには現在の UPS の状態が表示されています。

各数値が正常値の場合、ゲージは緑色で表示されていますが、規定値内ではない異常値の場合には赤色になります。

現在時刻

現在の日付と時刻が表示されます。

最新寿命診断日

最新の寿命診断実行日時が表示されます。

寿命診断結果

最新の寿命診断結果が表示されます。

最終イベントリスト

過去に起こった最新のイベントが表示されます。

(イベントログ記録の有無に関係なくすべてのイベントが対象となります)

UPS 情報

接続されている UPS の情報が表示されます。

UPS1010HUL
S/N.1234
Ver.208

← UPS 型名
← UPS Serial
← UPS プログラム ver.

アイコン表示

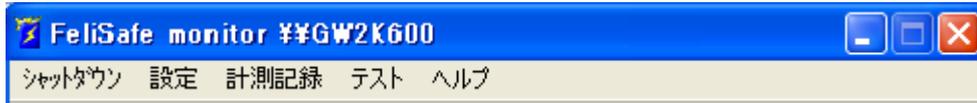
タスクトレイに格納されている FeliSafe アイコンの状態でも、アイコン上にマウスカーソルを移動すると、現在の動作状態を表示します。

また、状態数値が一つでも規定値でない場合にはアイコンが赤色に変化します。



4.3. メニュー操作

メニュー項目は、以下の項目で用意しております。



4.3.1. シャットダウン メニュー

- ・設定 : FeliSafe によるシャットダウン待機時間を設定します。
- ・定時設定 : 定刻での起動と停止運転を設定します。
- ・スケジュール : カレンダーでの起動と停止運転を設定します。
- ・自動終了 : FeliSafe にて設定された内容により、システムを終了します。
- ・シャットダウン取消 : FeliSafe によるシャットダウン処理を中断させます。
- ・リモートシャットダウン : ネットワーク上に有るコンピュータとの連動設定をします。
リモートシャットダウン機能は、Windows XP SP1 以前、Vista 以降の OS では機能しません。

4.3.2. 設定 メニュー

- ・UPS 設定 : UPS との接続ポート、モニター間隔、UPS ブザーの鳴動条件を設定します。
- ・イベント設定 : UPS にて発生したイベントの処理 (記録、通知、コマンド実行) を設定します。

4.3.3. 記録 メニュー

- ・設定 : UPS 環境履歴とイベント履歴の保存場所や件数を設定します。
- ・確認 : UPS 環境履歴とイベント履歴の表示。

4.3.4. テスト メニュー

- ・寿命診断 : UPS に対してバッテリーの寿命状態を問い合わせます。

4.3.5. ヘルプ メニュー

- ・FeliSafe ヘルプ : FeliSafe のヘルプを表示します。
- ・FeliSafe について : FeliSafe のバージョン情報を表示します。

また、一部のメニューは、アイコンボタンにて処理することができます。



4.3.1. シャットダウン メニュー

4.3.1.1. 設定

FeliSafe のシャットダウン動作における、各ディレイ時間の設定と、UPS 停止後の動作形態の指定をします。



- ディレイ1

：シャットダウンディレイ1（停電が発生した場合の電源の復旧待機時間）

- ・UPS から「AC 停電発生」を受信すると、システムを終了させる為に、「ディレイ1」に設定された待機時間に入ります。この待機時間にて、電源の復旧を待ちます。電源が復旧した場合は、FeliSafe は終了処理を中止し、動作状態を「AC 電源復旧」とし、その後「AC 通電中」に戻します。
「ディレイ1」の間に電源が復旧されない場合、もしくは、「ディレイ1」の間にUPS のバッテリー残量が少なくなった場合、「ディレイ2」に入り、「シャットダウン待機」状態になります。

- ディレイ2

：シャットダウンディレイ2（ディレイ1後のシャットダウン待機時間）

- ・「ディレイ2」は、システムを終了する前の待機時間になります。
この待機時間を利用して、システムの終了前処理などを行ってください。
なお、この待機時間内に電源が復旧されても、終了処理はキャンセルされません。
「ディレイ2」の設定時間を待機後、UPS に停止命令（「ディレイ3」の設定時間）を実行し、その後、システムの強制シャットダウンを開始します。
（シャットダウン実行の際、作業途中のアプリケーションや未保存データが存在しても強制的にシャットダウンを行います。データ保存等はいりません。）
- ・電源異常以外の FeliSafe シャットダウンの場合は、「ディレイ2」からの処理になります。

- ディレイ3

：シャットダウン後UPS 停止（ディレイ2後のUPS 停止待機時間）

- ・「ディレイ3」は、UPS が停止するまでの時間です。この待機時間を経過後、UPS が停止し、UPS からの電源供給を停止します。

各ディレイ時間の流れについては、[FeliSafe によるシャットダウン処理の流れ](#)（2 ページ）を参照してください。

- 復電動作

- ・停電により FeliSafe が停止させた UPS に対して、電源が復旧した際の UPS 動作を設定します。
 - 「起動」の設定：UPS は電源の復旧により、自動的に電源供給を開始します。
 - 「停止」の設定：UPS は電源の復旧後も、停止を継続し電源供給を開始しません。

4.3.1.2. 定時設定

「毎日」または、「週」での「起動」と「シャットダウン」時刻を設定します。
画面の「タイマー動作を行う」にチェックを入れる事により、機能します

<日>

<週>

タイマー動作設定

タイマー動作を行う

日 週

起動時刻 9 : 0 月

シャットダウン時刻 18 : 0 金

運転停止日

日 月 火 水 木 金 土

設定 取消

タイマー動作設定

タイマー動作を行う

日 週

起動時刻 9 : 0 月

シャットダウン時刻 17 : 0 金

運転停止日

日 月 火 水 木 金 土

設定 取消

「毎日」の設定

- ・画面の「日」を選択します。
- ・画面の「起動時刻」と「シャットダウン時刻」に、それぞれの時刻を入力してください。
- ・画面の「運転休止日」には、コンピュータを起動させない曜日が決まっている場合、その曜日にチェックを入れてください。

「週」の設定

- ・画面の「週」を選択します。
- ・画面の「起動時刻」と「シャットダウン時刻」に、それぞれの時刻を入力してください。
- ・画面の「起動時刻」の時刻入力欄の後ろに、起動する曜日を選択してください。
- ・画面の「シャットダウン時刻」の時刻入力欄の後ろに、停止する曜日を選択してください。

動作

- 起動について

- ・設定された「起動時刻」になりますと、UPS が電源供給を開始します。これに連動し、UPS から電源供給されている装置が起動します。

UPS に電源連動させる為には、コンピュータの BIOS 変更が必要な場合があります。

UPS の電源供給開始により、コンピュータが自動起動しない場合は、コンピュータの BIOS メニューの起動(Boot)条件を変更する必要があります。

<BIOS 設定の一例>

- BIOS タイプ 1

- ・ Power Management Setup メニュー
Power Again : Power On

- BIOS タイプ 2

- ・ 「Power」メニュー
「APM ~」: Disable(初期 : Enable)
「After Power Failure」: Power on(初期 : Last state)

- BIOS タイプ 3

- ・ 「Start Option」メニュー
「Automatic Power Restore : Power On(初期 : Previou State)

- シャットダウンについて

- ・設定された「シャットダウン時刻」になりますと、FeliSafe のシャットダウン待機状態になります。
- ・シャットダウン待機時間は、「シャットダウン」メニュー/「設定」の「シャットダウン開始待機時間(ディレイ 2)」に設定された時間になり、この時間を経過すると、UPS へ停止命令を実行し、OS のシャットダウンを開始します。
- ・その後、「シャットダウン」メニュー/「設定」の「シャットダウン後 UPS 停止」(シャットダウン開始後の UPS 停止待機時間 (ディレイ 3)) に指定された時間を経過後、UPS が停止します。
各ディレイ時間の流れについては、FeliSafe によるシャットダウン処理の流れ (2 ページ) を参照してください。

「定時設定」メニューと「スケジュール」メニューの併用

併用させた場合、「スケジュール」メニューの設定が優先します。

4.3.1.3. スケジュール

カレンダーにより、指定日での「起動」と「シャットダウン」及び、「休日」等の設定を行います。

スケジュールの設定方法

- ・ カレンダー上の希望の日を選択(日付上でマウスの左ボタンをクリック)すると、「タイマー動作設定」画面が表示されます。
 - ・ 「タイマー動作設定」画面にて、「タイマー動作を行う」にチェックすることで、スケジュール設定が可能になります。
- 特定日の「起動」と「シャットダウン」時刻を設定する場合
- ・ 選択しました、「タイマー動作設定」画面の「起動時刻」と「シャットダウン時刻」に、24時間制で時刻を入力してください。
 - ・ 「起動」または、「シャットダウン」のどちらかの時刻だけを有効にし、どちらかを無効にする場合は、その項目横の「無効」にチェックを入れてください。
カレンダーに設定された内容は、「無効」も含めて全て優先します。
 - ・ 時刻設定をされた場合、カレンダー上は「青」色表示されます。
- 特定日を運転しない日に設定する場合
- ・ 選択した「タイマー動作設定」画面の、「タイマー動作を行う」と「運転しない」の両方にチェックを入れてください。
 - ・ 「運転しない」を設定された場合、カレンダー上は「赤」色表示されます。



対象年月の変更

設定する対象の月を変更する場合は、カレンダー上の月選択のボタンにより対象の月を選択してください。

別の年の設定を行う場合は対象年を入力して「決定」ボタンを押すことにより対象となる年が変更になります。

「定時設定」メニューと「スケジュール」メニューの併用

併用させた場合、「スケジュール」メニューの設定が優先します。

既に、「定時設定」メニューに起動/シャットダウン時刻が指定されていても、「スケジュール」メニューの設定がある場合、スケジュールが優先します。

スケジュール設定が無い日は、定時設定で動作します。

この併用により、スケジュール設定の「無効」チェックを使用し、一定期間の停止指定も可能になります。

スケジュール動作について

- 起動について

- ・設定された「起動時刻」になりますと、UPS が電源供給を開始します。これに連動し、UPS から電源供給されている装置が起動します。
UPS に電源連動させる為には、コンピュータの BIOS 変更が必要な場合があります。
UPS の電源供給開始により、コンピュータが自動起動しない場合は、コンピュータの BIOS メニューの起動(Boot)条件を変更する必要があります。

< BIOS 設定の一例 >

- BIOS タイプ 1

- ・Power Management Setup メニュー
Power Again : Power On

- BIOS タイプ 2

- ・「Power」メニュー
「APM ~」: Disable(初期 : Enable)
「After Power Failure」: Power on(初期 : Last state)

- BIOS タイプ 3

- ・「Start Option」メニュー
「Automatic Power Restore : Power On(初期 : Previou State)

- シャットダウンについて

- ・設定された「シャットダウン時刻」になりますと、FeliSafe のシャットダウン待機状態になります。
- ・シャットダウン待機時間は、「シャットダウン」メニュー/「設定」の「シャットダウン開始待機時間(ディレイ 2)」に設定された時間になり、この時間を経過すると、UPS へ停止命令を実行し、OS のシャットダウンを開始します。
- ・その後、「シャットダウン」メニュー/「設定」の「シャットダウン後 UPS 停止」(シャットダウン開始後の UPS 停止待機時間 (ディレイ 3)) に指定された時間を経過後、UPS が停止します。

各ディレイ時間の流れについては、[FeliSafe によるシャットダウン処理の流れ \(2 ページ\)](#) を参照してください。

「スケジュール」と「定時設定」の設定動作関係

- ・「スケジュール」設定のみの場合は、カレンダーに設定された内容で、UPS を ON/OFF 運転いたします。
- ・「定時設定」と「スケジュール」(カレンダー) 設定の両方を設定された場合は、「スケジュール」設定が「定時設定」よりも優先し、動作を行います。
- ・スケジュール設定を行っていない日は、「定時設定」で動作を行います。

「スケジュール」設定と「定時設定」を組み合わせた使い方の例

- 「定時設定」内容

- ・起動時刻 : 9:00
- ・シャットダウン時刻 : 18:00

- 「スケジュール」(カレンダー) 設定内容

タイマー動作設定

タイマー動作を行う

日 週

起動時刻 9 : 0 月

シャットダウン時刻 18 : 0 金

運転停止日

日 月 火 水 木 金 土

設定 取消

スケジュール設定 ¥GW2K600

対象年 2006 決定

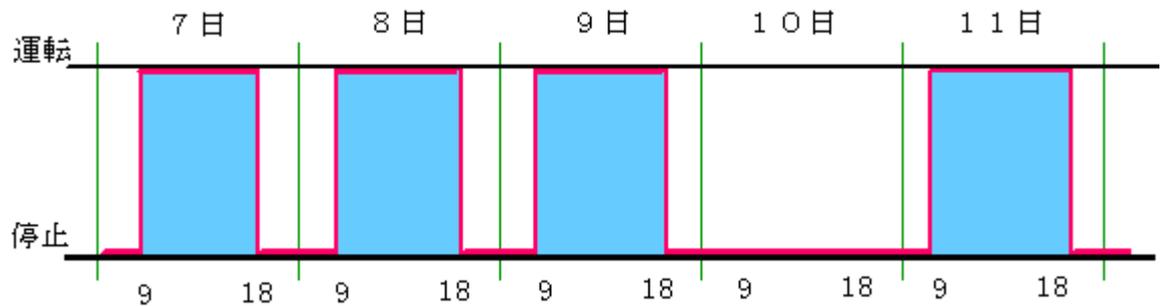
| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|---|---|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | | | | |
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | | | |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | | | | |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | | | | | |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | | | | | |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

設定 取消

1. 指定日の停止

・「定時設定」との組み合わせにて、特定日を停止させる設定方法。

- 動作



- 「スケジュール」(カレンダー) 設定

・指定日(10日) : 運転しない

タイマー動作設定

タイマー動作を行う

運転しない

起動時刻 0 : 0 無効

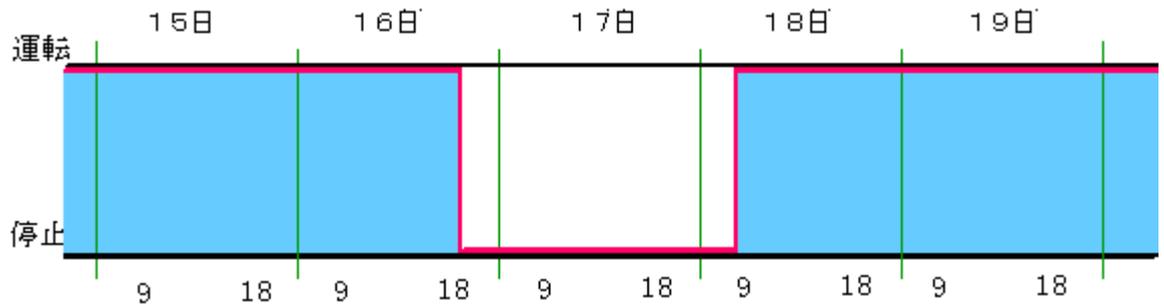
シャットダウン時刻 0 : 0 無効

設定 取消

2. 一定期間動作しないようにする

- ・「定時設定」との組み合わせにて、特定日の停止と、停止前日と停止後日の運転内容（時刻）を変化させる設定方法。

- 動作



- 14日の「スケジュール」設定

タイマー動作設定

タイマー動作を行う
 運転しない

起動時刻 9 : 0 無効
 シャットダウン時刻 0 : 0 無効

設定 取消

- 15日の「スケジュール」設定

タイマー動作設定

タイマー動作を行う
 運転しない

起動時刻 0 : 0 無効
 シャットダウン時刻 0 : 0 無効

設定 取消

- 16日の「スケジュール」設定

タイマー動作設定

タイマー動作を行う
 運転しない

起動時刻 0 : 0 無効
 シャットダウン時刻 18 : 0 無効

設定 取消

- 17日の「スケジュール」設定

タイマー動作設定

タイマー動作を行う
 運転しない

起動時刻 0 : 0 無効
 シャットダウン時刻 0 : 0 無効

設定 取消

- 18日の「スケジュール」設定

タイマー動作設定

タイマー動作を行う
 運転しない

起動時刻 9 : 0 無効
 シャットダウン時刻 0 : 0 無効

設定 取消

- 19日の「スケジュール」設定

タイマー動作設定

タイマー動作を行う
 運転しない

起動時刻 0 : 0 無効
 シャットダウン時刻 0 : 0 無効

設定 取消

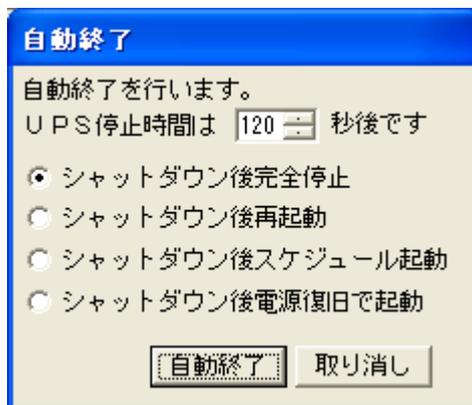
4.3.1.4. 自動終了

UPS へ停止命令を送り、コンピュータのシャットダウンを行います。

OS シャットダウン開始から、UPS 停止までの時間は、初期値として「シャットダウン設定」メニューの「シャットダウン開始後 UPS 停止待機時間 (ディレイ 3)」の値が設定されています。必要に応じて変更してください。

動作

- ・「自動終了」を実行しますと、直ちに FeliSafe のシステム・シャットダウン過程の、シャットダウン待機状態 (「シャットダウン設定」メニューの「シャットダウン開始待機時間 (ディレイ 2)」) に入ります。
- ・「シャットダウン設定」メニューの「シャットダウン開始待機時間 (ディレイ 2)」を経過すると、UPS へ出力停止命令を実行し、OS のシャットダウンを開始します。
- ・その後、「自動終了」画面内の、「UPS 停止時間」に指定された時間を経過後、UPS は停止します。
各ディレイ時間の流れについては、[FeliSafe によるシャットダウン処理の流れ \(2 ページ\)](#) を参照してください。



各選択項目の内容

1. シャットダウン後完全停止
 - ・自動終了を実行した後、UPS は完全に停止します。再度 UPS から出力を開始させるには、UPS の電源スイッチを入れなおしてください。
2. シャットダウン後再起動
 - ・自動終了を実行した後、UPS は一度出力を停止し、1 分後に出力を開始します。
3. シャットダウン後スケジュール起動
 - ・自動終了を実行した後、スケジュール (定時またはスケジュール) が設定されている場合、UPS は出力を停止し待機します。その後、スケジュールで設定された起動時間になると出力を開始します。
4. シャットダウン後電源復旧で起動
 - ・自動終了を実行した後、UPS は完全に停止します。再度 UPS から出力を開始させるには、UPS への電源供給を再投入するか、UPS の電源スイッチを入れ直す事で出力を開始します。オフィスや工場で電源 (ブレーカー) を落としてしまう環境に有効です。

4.3.1.5. シャットダウン取消

シャットダウン動作の取り消しを行います。

取り消すことが可能なのはシャットダウン待機中(シャットダウンディレイ 2 設定時間内)の状態の時に限られます。

リモートシャットダウン機能をご使用の場合も、取り消しを行うことで、リモート設定されているコンピュータのシャットダウンも取り消されます。

4.3.1.6. リモートシャットダウン

この機能は、Windows Server 系 OS (2000、XP SP2 以降、2003) を、FeliSafe からネットワークを返して、シャットダウンを連動させる機能です。

機能制限 1

- ・この機能は、Windows XP の ServicePack 1 以前には対応していません。ServicePack 2 以降に対応しております。
ServicePack 1 以前には一部問題があり、コンピュータがログオフ状態になると、FeliSafe によるシステム・シャットダウンが開始されません。
(この問題は、リモート元とリモート先のコンピュータに影響します。)

機能制限 2

- ・この機能は、「Windows Vista」以降の OS では動作しません。
システムのセキュリティ強化により使用できません。

設定

1. リモート元 (連動元) コンピュータでの設定

1-1. リモート先 (連動先) コンピュータの指定

1-1-1. FeliSafe コントロールモニターの「シャットダウン」メニューより、「リモートシャットダウン」を選択し、「コンピュータ選択」画面を起動します。

この「コンピュータ選択」画面にて、FeliSafe シャットダウン時に、連動してシャットダウンを行う、連動コンピュータを登録します。

1-1-2. 連動コンピュータの登録は、「コンピュータ選択」画面の左側、ネットワーク・コンピュータ・リストより選択するか、直接「コンピュータ名」欄に、連動コンピュータ名を入力し、「追加 >>」ボタンを押してください。

これにより、画面の右側に追加されたことを確認し、「設定」ボタンで設定します。
連動先を登録一覧から削除する場合、登録したコンピュータを選択し、「<< 削除」ボタンを押してください。

WindowsXP 以降の OS ではネットワークコンピューター一覧表示機能がありません。
直接コンピュータ名を入力し、追加してください。

以上で、FeliSafe シャットダウン時に、連動してシャットダウンを行う、連動先コンピュータが登録されました。



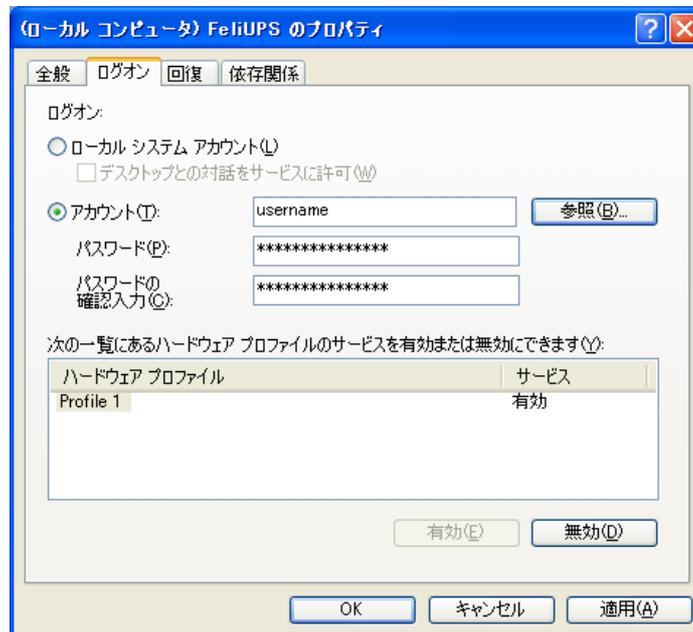
1-2. リモート先（連動先）コンピュータのシャットダウン権限設定

- ・ FeliSafe よりリモート先（連動先）コンピュータをシャットダウンする為の権限を設定します。
- ・ 設定は、FeliSafe のサービスプログラム(FeliUPS)のアカウントを、“システム アカウント” から、ネットワーク内で共通の Admin 権限を持つ “アカウント” 名に設定します。アカウント名の設定は、OS の「サービス」マネージャで行います。

1-2-1. OS 「サービス」コントロールマネージャの起動と設定

- Windows2000 / 2003 / XP の場合

- ・ 「コントロールパネル」(クラシック表示) / 「管理ツール」 / 「サービス」を起動。
- ・ サービス一覧より “ FeliUPS ” を選択し、プロパティを表示します。
- ・ プロパティの「ログオン」タブにて、「アカウント」を指定し、アカウント名を設定します。



アカウント欄に既存のユーザ名を入力し、そのパスワードを入力した後に「OK」で終了してください。

変更するアカウントはFeliUPSを正常に実行するために administrator と同等の権限を持つ必要があります。

FeliUPS を実行時には以下の動作でユーザーの権限が影響します。

- レジストリ(HKEY_LOCAL_MACHINE)のアクセス
- 計測記録ファイルのアクセス
- スケジュールの記録へのアクセス
- リモートシャットダウンの権限
- 別のマシン上におけるイベントコマンドの実行

1-2-2 . FeliSafe のサービスプログラム「FeliUPS」の再起動

- ・「アカウント」を設定後、「FeliUPS」サービスプログラムを再起動してください。
- Windows2000 / 2003 / XP の場合
 - ・「コントロールパネル」(クラシック表示) / 「管理ツール」 / 「サービス」を起動。
 - ・サービス一覧より “ FeliUPS ” を選択し、「再起動」を実行します。

2 . リモート先(連動先)コンピュータでの設定

2-1 . リモート・ユーザ・アカウントの追加

- ・上記「1-2 . ~シャットダウン権限設定」で、FeliSafe のサービスプログラム「FeliUPS」に、「Administrator」と、そのパスワードを指定する場合は、新規にユーザ・アカウントを追加する必要ありません。
- ・「Administrator」以外のアカウントで指定する場合は、上記「1-2 . ~シャットダウン権限設定」で指定したアカウントとパスワードを、OS の「ユーザとパスワード」(Windows2000) 「ユーザ アカウント」(WindowsXP) にて、「Administrators」権限を持つアカウントで追加してください。

2-2 . OS 別の設定

2-2-1 . WindowsXP / Windows2003 の設定

- 「ローカル セキュリティ ポリシー」の設定
 - ・「管理ツール」の「ローカル セキュリティ ポリシー」を起動し、「セキュリティの設定」メニューの「ローカル ポリシー」 / 「セキュリティ オプション」を選択。
 - ・表示された一覧の中から、「ネットワークアクセス : ローカルアカウントの共有とセキュリティ モデル」の「プロパティ」を開き「クラシック - ローカルユーザがローカルユーザとして認証する」に変更します。
(初期値 : Guest のみ - ローカルユーザが Guest として認証する)

2-2-2 . WindowsXP の設定

- 「Windows ファイアウォール」の「例外」設定
 - ・「Windows ファイアウォール」の設定画面を起動し、「例外」タブにて、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れます。

リモートシャットダウン動作

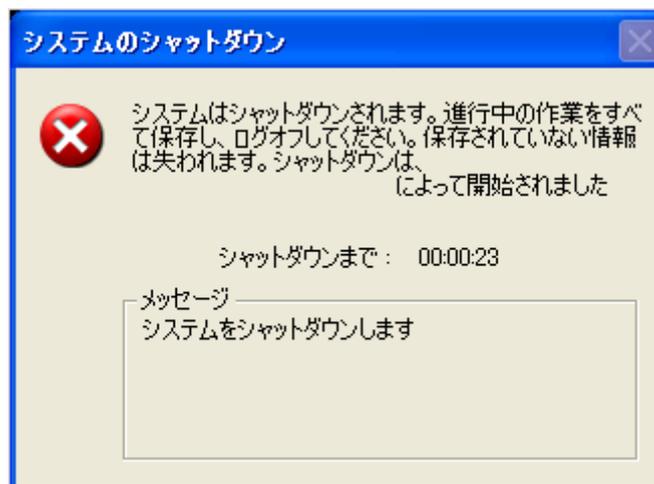
- リモート元（連動元）コンピュータの動作

- ・リモート元のコンピュータは、通常と変わりなく、FeliSafe シャットダウンされます。
- ・リモートシャットダウンの命令は、FeliSafe の「シャットダウン待機」状態になるとともに発効されます。

（FeliSafe シャットダウン動作は 2 ページ「FeliSafe によるシャットダウン処理の流れ（停電、スケジュール等）」をご確認ください。）

- リモート先（連動先）コンピュータの動作

- ・リモート先のコンピュータには、FeliSafe からリモートシャットダウン命令が実行されると、画面上に、「システムのシャットダウン」メッセージが表示されます。シャットダウン開始までの待機時間は、リモート元の FeliSafe に設定された「シャットダウン」メニューの「設定」にて設定された、「シャットダウン開始待機時間（ディレイ 2）」になります。シャットダウン命令は、リモート先コンピュータにて、中断することはできません。



シャットダウン取消

- ・リモートシャットダウンの取り消しは、リモート元の FeliSafe コントロールモニターにて、「シャットダウン取消」操作されることにより、リモート元及び、リモート先共に、シャットダウンが取り消されます。

4.3.2.設定 メニュー

4.3.2.1. UPS 設定

UPS 動作に関する設定を行います。



接続ポート

UPS と通信を行うコンピュータ側の通信(COM)ポートを指定します。

モニタ間隔

この設定値の間隔で UPS の状態をモニタします。

ただし停電の発生などのシャットダウン動作を行う異常状態は即座に通知されます。

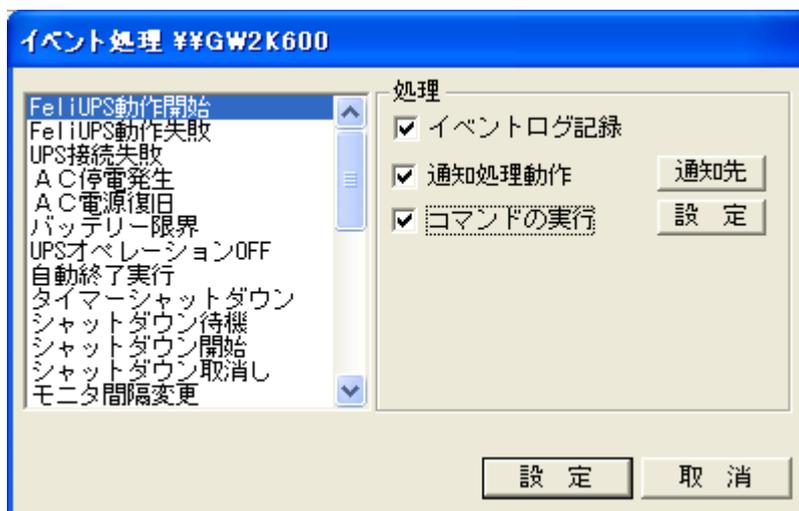
FeliSafe® for Windows 版で動作が不安定な場合は通信間隔を長くしてください。

A C 復旧デレイ

停電発生後、電源が復旧した場合にこの設定値が経過した時点までに異常がない場合に正常動作(A C 通電中)と判断します。

4.3.2.2. イベント設定

UPS の発生イベントに応じた「記録」「メッセージ通知」「コマンド実行」の設定を行います。



< 設定対象イベント >

10 ページの「状態表示」項目の「AC 通電中」「未接続」を除く項目が、設定対象となります。
(各イベントの内容については「状態表示」(10 ページ)をご参照ください)

設定方法

イベント一覧リストより設定するイベントを選択して、処理内の設定したい動作にチェックをしてください。

< イベントログ記録 >

イベント一覧よりイベントを選択し、「イベントログ記録」にチェックを入れることで、そのイベントが発生した時に、イベントログ記録設定ファイルへ記録します。

< 通知処理動作 >

イベント一覧よりイベントを選択し、「通知処理動作」にチェックを入れ、横の「通知先」ボタンにて表示されたサブ画面にて、通知先を指定することで、そのイベントが発生した時に、メッセージを送信します。

注意

メッセージを受け取るコンピュータは、下記 OS 標準のメッセージ受信プログラムを起動してください。

- ・ **Microsoft Windows Vista 以降の OS の場合**
メッセージの送受信は機能しません。OS に「Messenger」サービスがありません。
- ・ **Microsoft Windows 2000 / XP / 2003 の場合**
コントロールパネルのサービスにおいて「Messenger」サービスを開始してください。

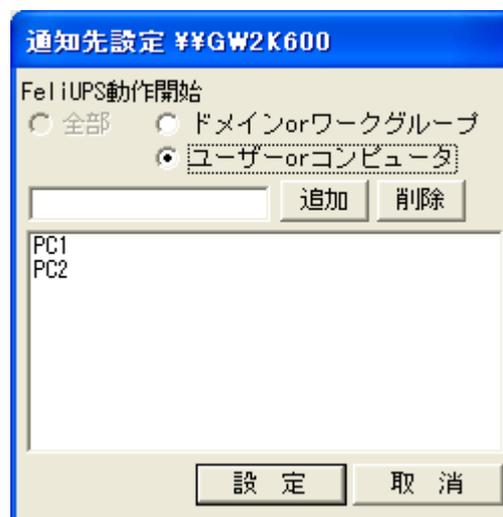
- 通知対象の選択

通知先は「全部」「ドメイン or ワークグループ」「ユーザー or コンピュータ」の中から通知対象を選択してください。

- ・ 「全部」：ネットワーク上の全てのドメインを対象に通知を行います。
(*WindowsXP 以降の OS では機能しません。*)
- ・ 「ドメイン or ワークグループ」
：リストに追加されているドメイン、ワークグループに対して通知を行います。
- ・ 「ユーザー or コンピュータ」
：リストに追加されているユーザ、コンピュータに対して通知を行います。

- 通知対象の登録と削除

- ・ 通知先の追加：通知先を入力し、「追加」ボタンを押してください。
- ・ 通知先の削除：通知先リストより削除対象を選択し「削除」ボタンを押してください。



<コマンドの実行>

イベント一覧よりイベントを選択し、「コマンドの実行」にチェックを入れ、横の「設定」ボタンにて表示されたサブ画面にて、実行するコマンドを指定することで、そのイベントが発生した時に、そのコマンドを実行します。

注意

- ・実行できるプログラム・コマンドにとくに制限はございませんが、実行するプログラム・コマンドは“ FeliUPS ” サービスの実行アカウントで実行できるようにアクセス権を設定しておく必要があります。
また、ログオンを行っていない状態でコマンドの実行が行われた場合には、ウィンドウの表示およびプログラムへのキー入力が行えませんが、実行コマンドに操作を伴うプログラムは指定しないようにしてください。
- ・「Windows Vista」以降の OS では、「ノートパッド」や「コマンドプロンプト」など、対話形式のプログラムは実行できません。
実行確認メッセージが表示され、自動的にプログラムは起動しません。

- コマンドの設定

「設定」ボタンを押しますと、実行コマンド設定ダイアログボックスが表示されます。コマンド欄に実行するファイル名を設定します。必要に応じて、拡張子とディレクトリも含めて設定してください。
コマンドの実行ディレクトリが特に必要な場合はディレクトリを設定します。

[参照]ボタンを押しますとファイルを選択するダイアログボックスが表示され、それにより実行コマンドを選択できます。

実行コマンド設定 ¥#GW2K600

FeliUPS動作開始

コマンド 参照

実行ディレクトリ

設定 取消

4.3.3. 計測記録 メニュー

4.3.3.1. 設定



計測記録

UPS の動作状態(入力電圧、出力電圧、出力電流、バッテリー電圧、内部温度、バッテリー容量)の記録に関する設定を行います。

記録する

：計測記録を行う場合にチェックしてください。(初期値：チェックあり)

計測間隔

：何回の動作状態毎に記録を行うか指定します。

(15 秒間隔でモニタしている場合に、計測間隔 4 回ならば、1 分毎の計測記録を行います。)

：記録間隔は、「設定」メニュー/「UPS 設定」の「モニター間隔」により変化します。

但し、記録間隔は「モニター間隔」値と一致ではありません。

また、電源異常(停電、過電圧)が発生した時は、即座にその時点の状態を記録します。

その場合、記録リストの右端に"*"が表示されます。

最大記録回数

：最大何件の計測記録を保存するかを指定します。

記録ファイル名

：計測記録を保存するファイル名をドライブを含めたフルパスにより指定してください。
ネットワークドライブ上のファイルを指定することはできません。

イベント記録

UPS のイベントの記録に関する設定を行います。

記録されるのはイベント設定でイベントログ記録を行うよう設定されたイベントのみです。

記録する

：イベント記録を行う場合にチェックしてください。(初期値：チェックあり)

最大記録回数

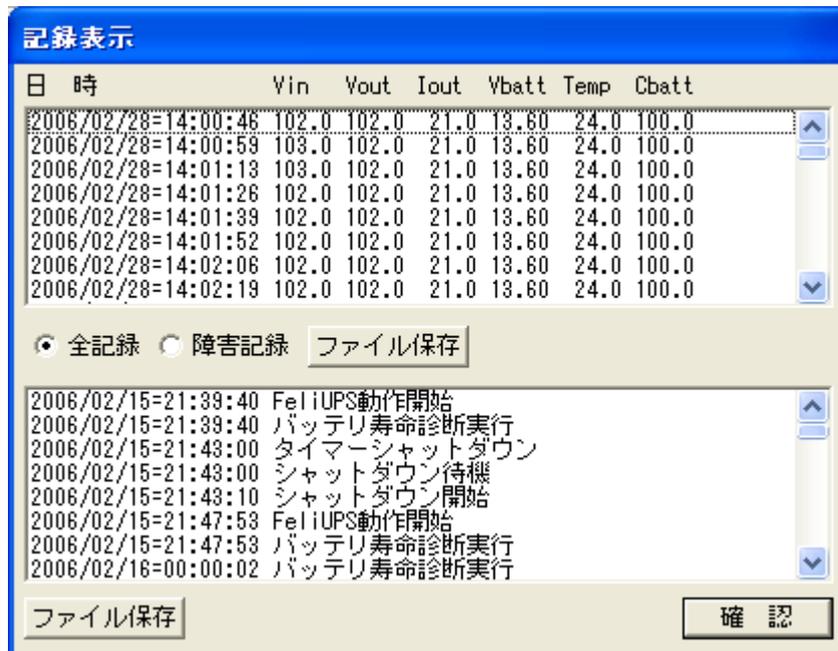
：最大何件のイベント記録を保存するかを指定します。

記録ファイル名

：計測記録を保存するファイル名をドライブを含めたフルパスにより指定してください。
またネットワークドライブ上のファイルを指定することはできません。

4.3.3.2. 確認

記録されている計測内容を表示します。



表示される画面で、上段のリストは UPS の状態数値の記録であり、障害記録をチェックすると、状態数値のうち異常イベント発生時の数値のみを表示します。

下段のリストはイベント設定でイベントログの記録を行うように設定したイベントの記録です。

「ファイル保存」ボタンで、上段、下段各々の表示内容をファイルとして保存できます。保存ファイルは CSV 形式で保存されます。

4.3.4. テスト メニュー

4.3.4.1. 寿命診断

寿命診断を開始し、その状態表示を更新します。(診断中はピープ音が鳴ります)
診断結果をもとに現在のバッテリー状態と診断日時とを表示します。

寿命診断 1998/06/02=15:23:45 

ゲージの表示色によりバッテリー状態を判断できます。
青:バッテリーは正常です。
黄:バッテリーの交換時期が近づいています。
赤:バッテリーを交換してください。

尚、寿命診断は、FeliSafe 起動時及び、指定時間 (24:00) に自動的に寿命診断を行います。

4.3.5. ヘルプ メニュー

4.3.5.1. FeliSafe ヘルプ

・ FeliSafe® for Windows のヘルプを表示します。

4.3.5.2. FeliSafe について

・ FeliSafe® for Windows のバージョン表示等を行います。

5. シャットダウン動作について

5.1. FeliSafe® for Windows によるシャットダウン

FeliSafe® for Windows の機能によるシャットダウンの動作は通常の「スタート」「シャットダウン」(プログラマネージャ)によるシャットダウンとは異なり、動作中のプログラムの終了を待たずに強制的にシャットダウンを行います。

シャットダウン待機状態になった時点で速やかに動作中のプログラムの終了、保存していないデータの保存を行ってください。

5.2. FeliSafe® for Windows 以外でシャットダウンを行った場合

プログラマネージャやその他の FeliSafe® for Windows 以外の機能によりシャットダウンを行った場合には UPS に対して次回起動時の設定が行えませんが、定時指定やスケジュール指定での起動ができません。

その場合には UPS 前面の OPERATION スイッチにより再起動してください。

5.3. シャットダウン取り消しを行った場合

設定時間により開始したシャットダウン動作を取り消した場合には次の日のシャットダウン設定時刻になるまでシャットダウンは行われません。

次回起動時の UPS 設定も行われませんが、取り消した後は自動終了(21 ページ)によりシャットダウンを行ってください。

5.4. 設定時間以外の起動

定時設定、スケジュール設定によって停止している時間に起動を行いたい場合は、UPS 前面の OPERATION スイッチにより再起動してください。

この場合も次回起動時の UPS 設定を行うために自動終了(21 ページ)によりシャットダウンを行ってください。

5.5. UPS タイマーの限界について

UPS 内のタイマー用バッテリーの限界により、スケジュール設定した後に UPS の AC 入力を長時間切断した場合、再度 UPS の AC 入力を復帰してもスケジュールによる UPS の再起動が行えない場合があります。

その場合には UPS 前面の OPERATION スイッチにより再起動してください。

6. ご利用いただく際の注意点 - 必ずお読みください

6.1. UPS - HYPER シリーズをご利用の場合

HYPER シリーズでは、拡張ボードにより RS232C を使用し、複数台のコンピュータを接続できますが、スケジュール運転は標準搭載した RS232C ポートに接続されたコンピュータからのみ有効となります。

6.2. Windows システムをネットワーク接続せずに単体(スタンドアロン)で使用する際の注意点

・ FeliSafe® for Windows は動作する為にネットワーク機能を使用します。システムを単体(スタンドアロン)にて使用する場合は、Windows にて用意している、仮想ネットワークアダプター (MS Loopback Adapter) をセットアップしてください。

仮想ネットワークアダプター (MS Loopback Adapter) は、下記の方法でセットアップできます。

- ネットワーク追加手順

- ・ コントロールパネルの「ネットワーク」を起動し、アダプタを選択、「追加」を実行し、一覧より「MS Loopback Adapter」を選択して「OK」を押します。MS Loopback アダプタカードセットアップの画面が表示されるので、そのままの状態ですべて「OK」を押します。(OSにより、アダプタの追加方法が異なります。「ハードウェアの追加」になります。)
- ・ 次に、コントロールパネルの「ネットワーク」にて「プロトコル」を選択、「追加」を実行します。特に設定の必要がない「NetBEUI」または、「TCP/IP」プロトコルを選択して「OK」を押します。以上で「OK」を押して終了です。
各 OS ごとの追加方法は、本マニュアルの「仮想ネットワーク・アダプターの追加」をご参照ください。

6.3. UPS の電源供給に連動し、コンピュータを起動させるには

コンピュータによっては、UPS の電源供給開始と連動してコンピュータが起動してこない場合があります。この場合、コンピュータの「BIOS」メニューにて、起動条件を変更する必要があります。(BIOS メニュー例:「POWER management」を「disenable」に変更)

BIOS メニューは、コンピュータのメーカーにより異なります。設定方法がご不明の場合は、ご利用いただいているコンピュータのメーカーにお問合せください。

連動起動させる場合、FeliSafe でシステム停止させることが前提となります。

6.4. アクティブ デスクトップについて

アクティブ デスクトップを有効にされている場合は、FeliSafe® for Windows が正常に動作しない可能性があります。アクティブ デスクトップを無効にして、ご利用ください。

6.5. 「定時設定」のシャットダウン時刻の設定について

「定時設定」のシャットダウン時刻で設定した時刻から、「シャットダウン設定」で設定したシャットダウンディレイ 2 の時間経過後の時刻が 0 時を越えると、起動時間をその時点の翌日の該当時間と解釈するために、希望日時に起動しない場合がございます。

そのため、シャットダウンディレイ 2 に設定してある時間分およびシステム動作に関する分単位の余裕をもって終了時刻を設定してください。

6.6. OS の「省電力モード」及び、「システムスタンバイ・モード」では使用できません

省電力モードにて「ハードディスク」が停止した場合や、システムスタンバイ・モードでは、FeliSafe は UPS を監視できません。このモードは使用しないでください。

7. 仮想ネットワーク・アダプターの追加 (Server 系 OS)

FeliSafe (Server系OS) をネットワーク接続せずに単体で使用する場合の設定

スタンドアロン (ネットワーク接続なし) 環境下でFeliSafeを使用する場合の設定について説明します。

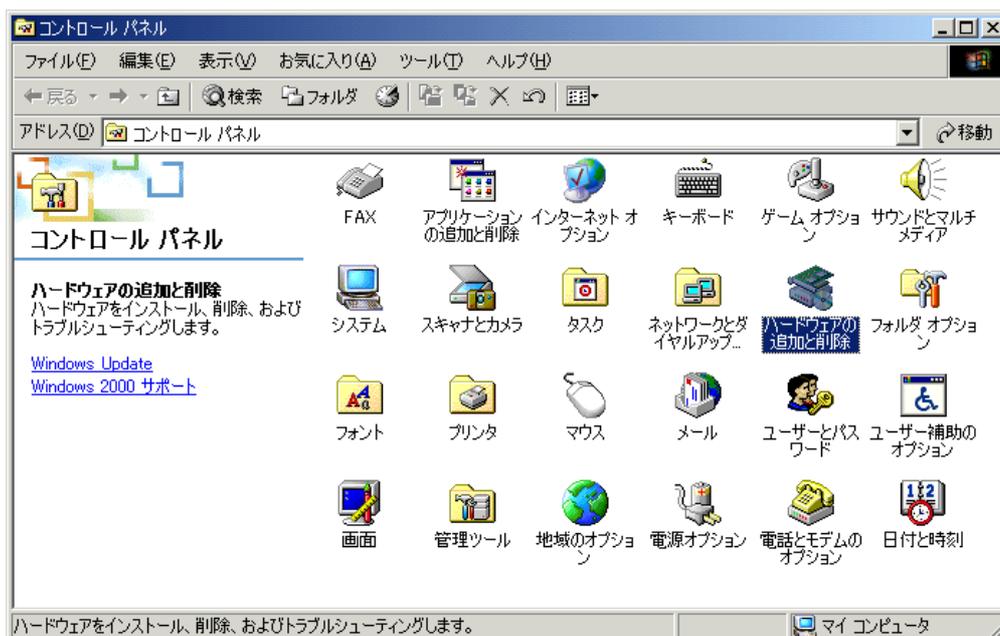
FeliSafe for Windows は動作のためにネットワーク機能を使用します。

このため、スタンドアロン環境下において、FeliSafe を使用する場合、ネットワークプロトコルを追加しておく必要があります。以下にその設定方法を説明します。

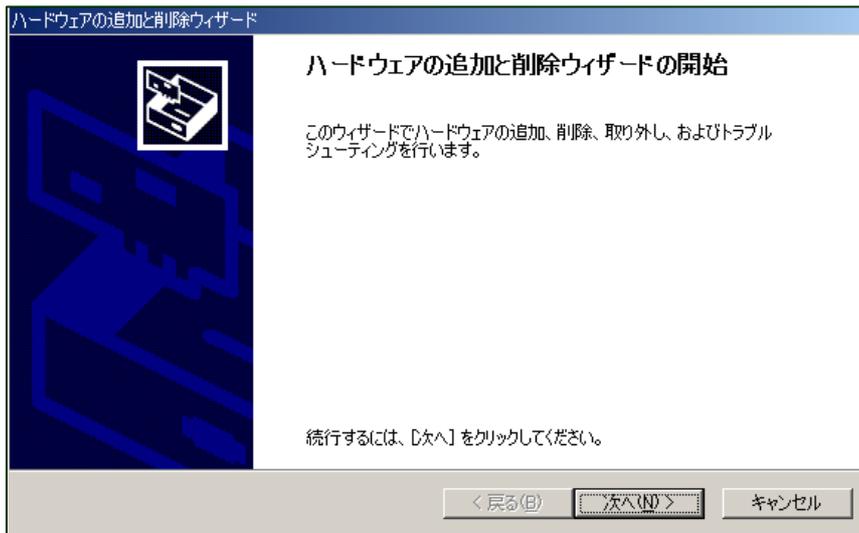
設定方法は、オペレーティング・システムによって異なりますので、システムに合った設定方法を実施してください。

< Windows 2000 の場合 >

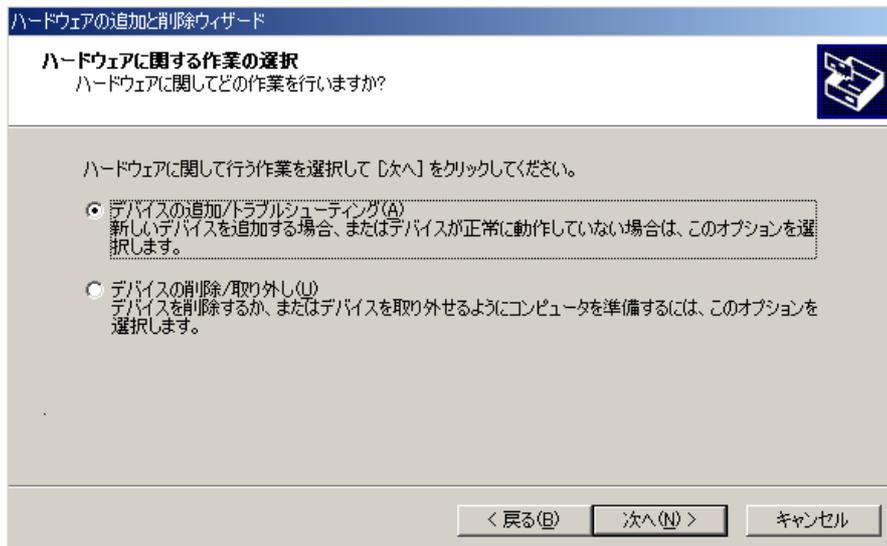
1. コントロールパネルより、「ハードウェアの追加と削除」を起動してください。



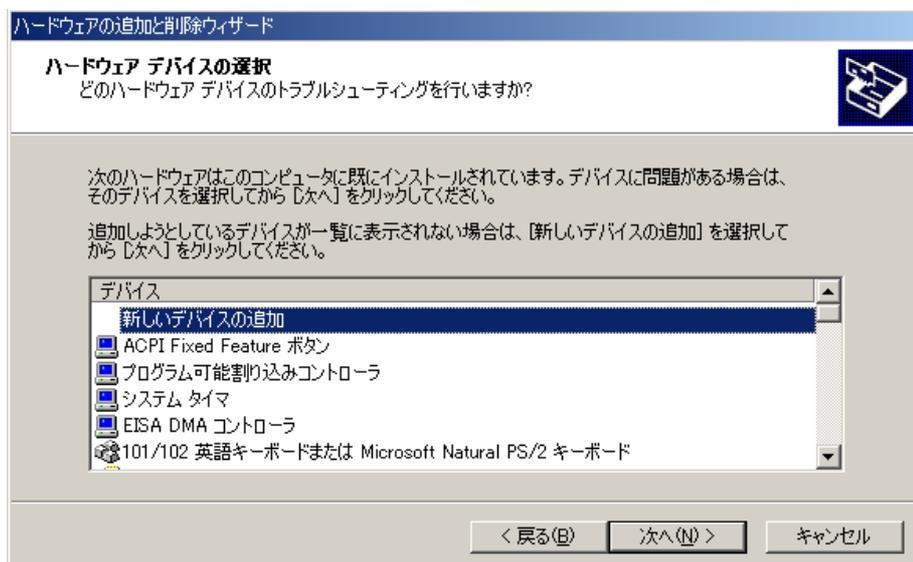
2. 下記画面にて「次へ」をクリックしてください。



3. 「デバイスの追加 / ~」をチェックし、「次へ」ボタンを実行してください。



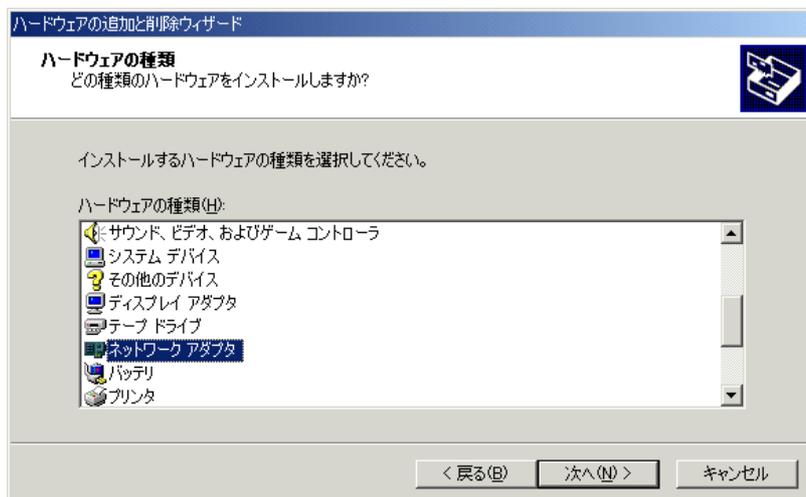
4. 「新しいデバイスの追加」を選択し、「次へ」ボタンを実行します。



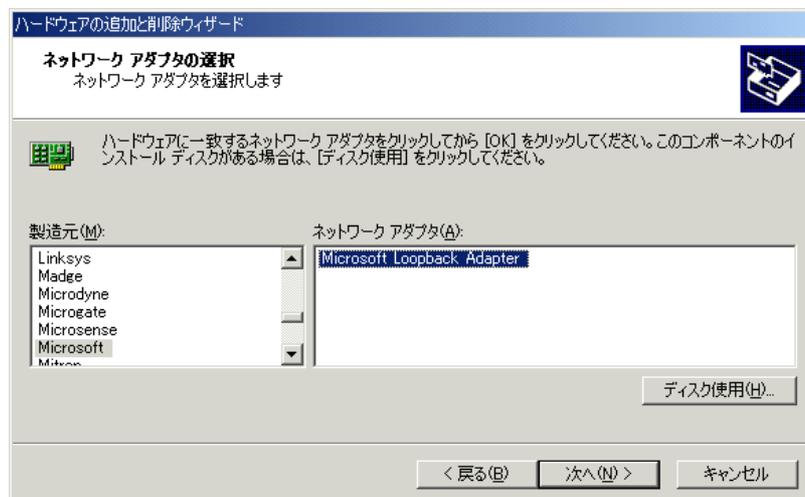
5. 「いいえ～」をチェックして、「次へ」ボタンを実行してください。



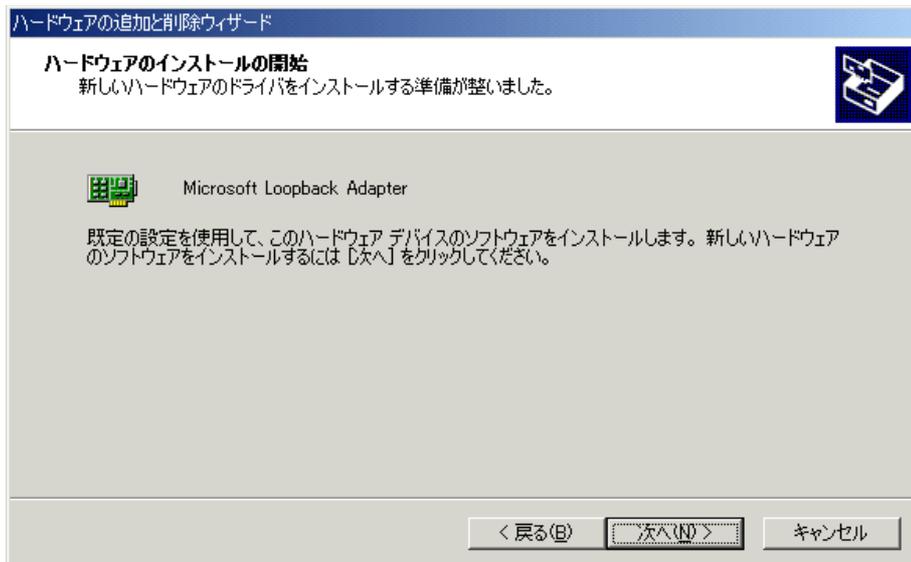
6. 「ネットワークアダプタ」を選択し、「次へ」ボタンを実行してください。



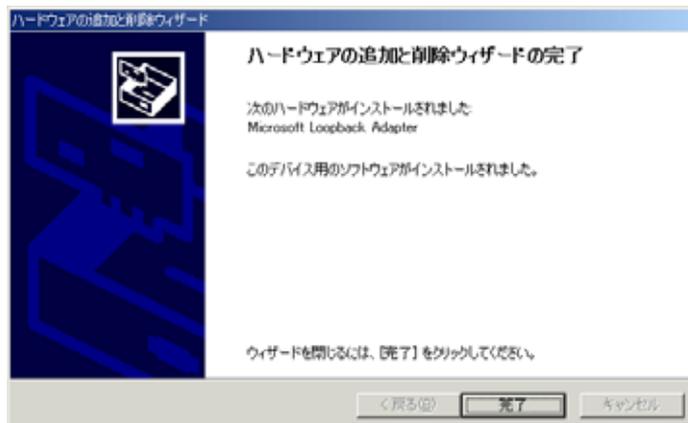
7. 製造元を「Microsoft」、ネットワークアダプタに「Microsoft Loopback Adapter」を選択し、「次へ」ボタンを実行してください。



8. 「次へ」ボタンを実行してください。



9. 「完了」ボタンを実行してください。



10. 「Microsoft Loopback Adapter」を追加後、次にネットワーク・プロトコルを追加します。コントロールパネルより、「ネットワークとダイヤルアップ接続」を起動してください。



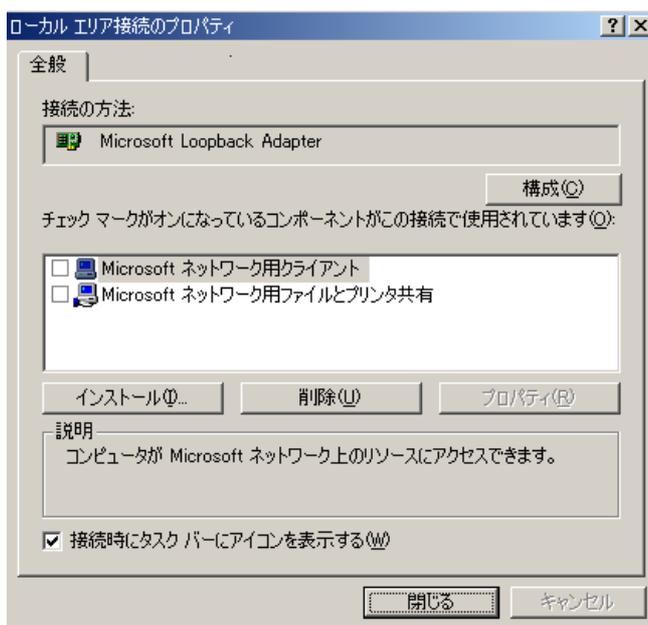
1 1 . 「ローカルエリア接続」をダブルクリックする。



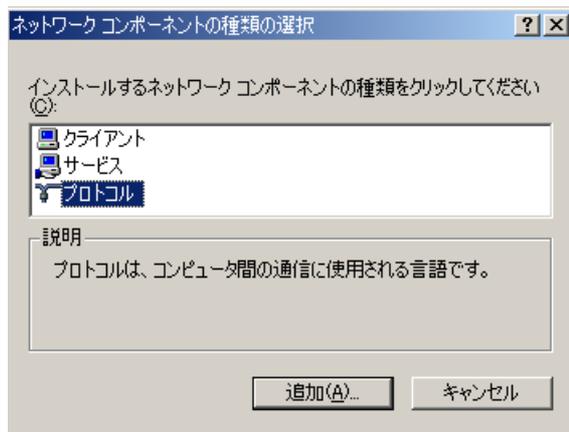
1 2 . 「プロパティ」ボタンを実行してください。



1 3 . 「インストール」ボタンを実行してください。



14. 「**プロトコル**」を選択し、「**追加**」ボタンを実行してください。



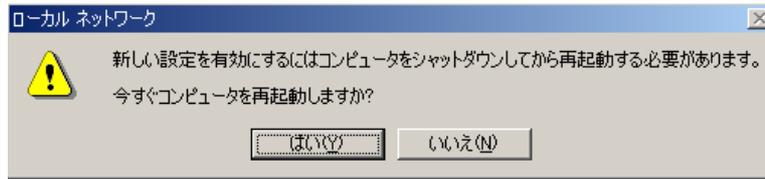
15. 「**NetBEUI プロトコル**」を選択し、「**OK**」ボタンを実行してください。



16. 全てにチェックをして、「**OK**」ボタンを実行してください。



17. 「はい」ボタンを実行し、コンピュータを再起動してください。
以上で「Windows2000」の設定は完了です。

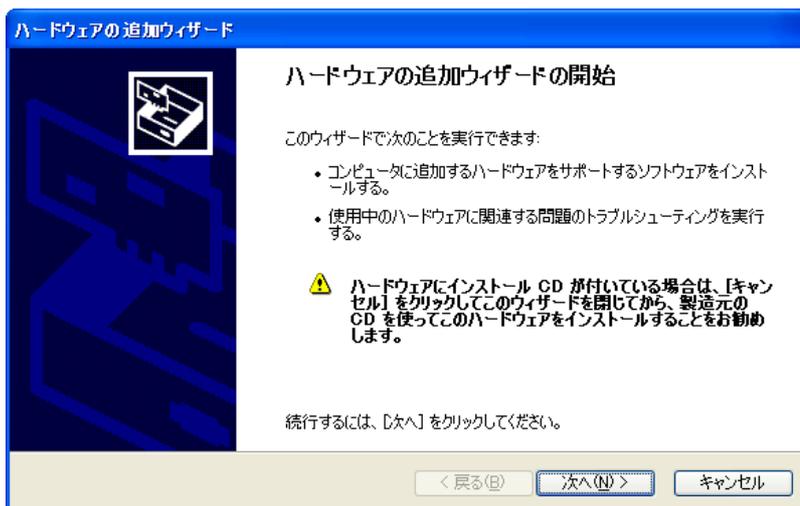


< Windows XP / 2003 / Vista / 2008 / 7 の場合 >

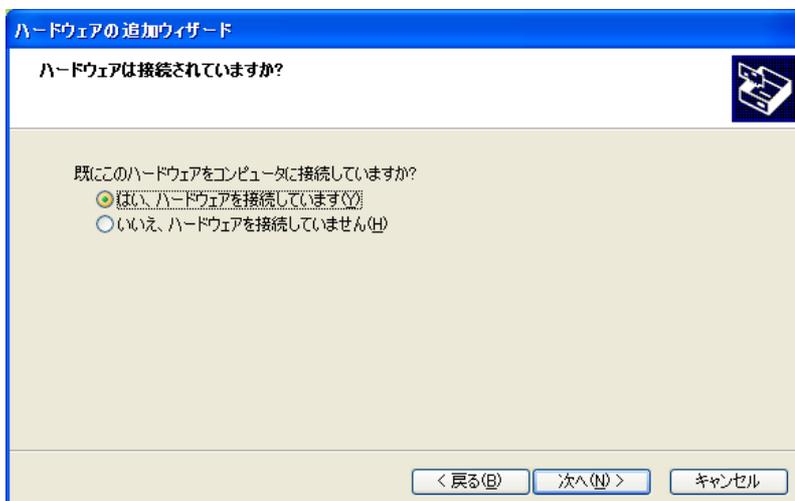
1. コントロールパネルより、「ハードウェアの追加と削除」を起動してください。



2. 下記画面にて「次へ」をクリックしてください。
Windows Vista 以降の OS はこの後「5. ~」へ進んでください。



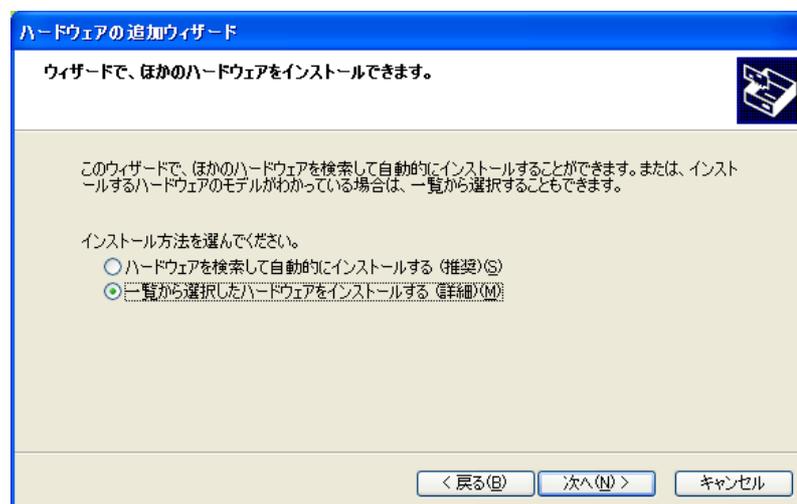
3. 「はい、~」をチェックし、「次へ」ボタンを実行してください。



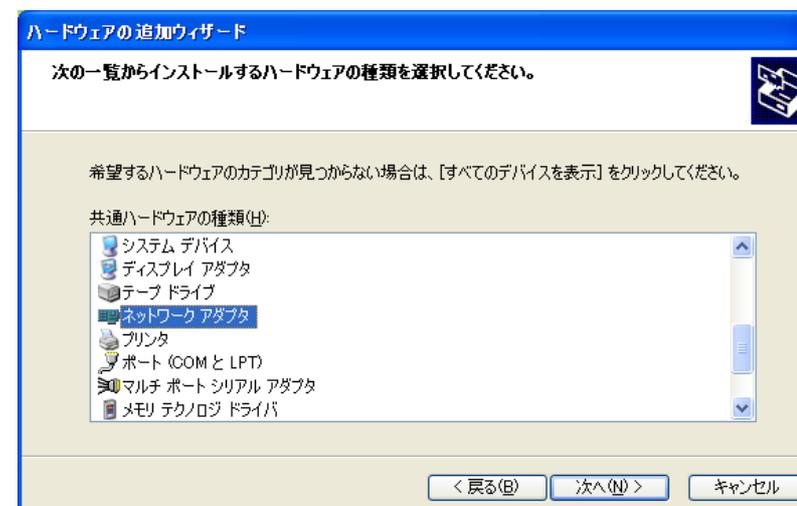
4. 「新しいハードウェア デバイスの追加」を選択し、「次へ」ボタンを実行してください。



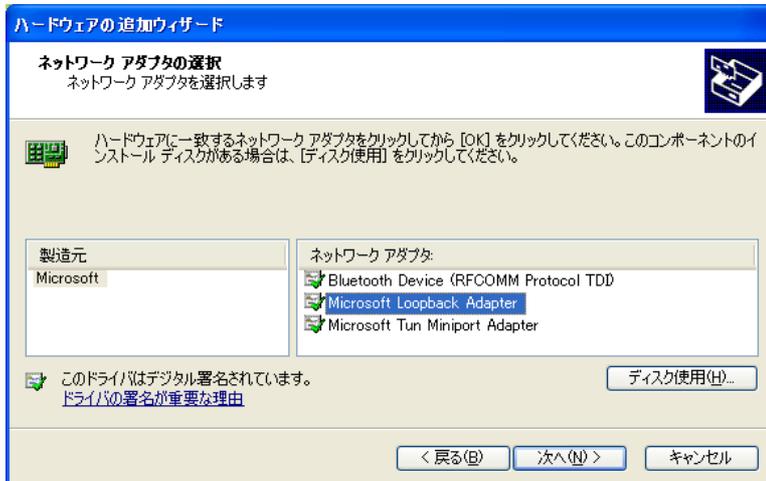
5. 「一覧から選択した～」をチェックして、「次へ」ボタンを実行してください。



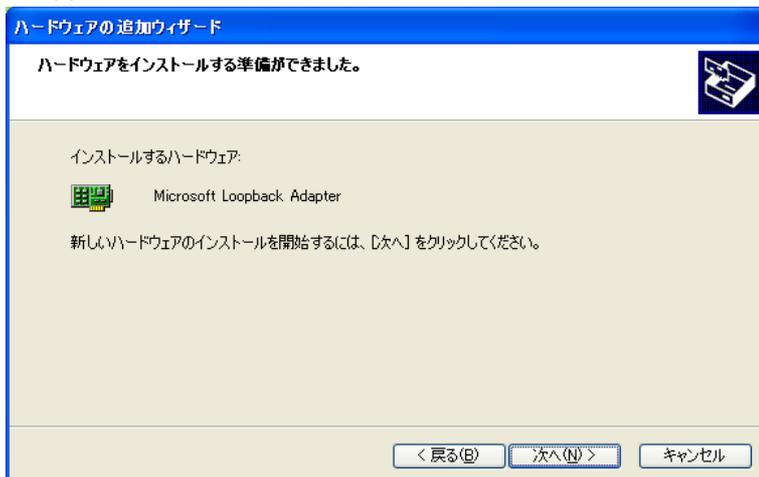
6. 「ネットワークアダプタ」を選択し、「次へ」ボタンを実行してください。



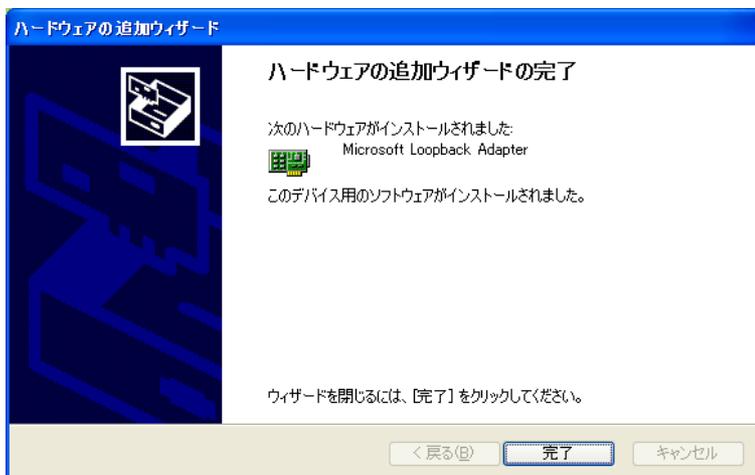
7. 製造元を「Microsoft」、ネットワークアダプタに「Microsoft Loopback Adapter」を選択し、「次へ」ボタンを実行してください。



8. 「次へ」ボタンを実行してください。



9. 「完了」ボタンを実行し、コンピュータを再起動してください。以上で「WindowsXP」の設定は完了です。



FeliSafe® for Windows

営業に関するお問合せ先

【本 社 UPS 営業グループ】

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-25-5 ニッセイ五反田アネックス
TEL 03-5436-2780
<http://www.yutakadenki.jp> UPSSALES@po.yutakadenki.co.jp

【秩父 UPS 営業グループ】

〒369-1412 埼玉県秩父郡皆野町皆野1632
TEL 0494-62-6021

【大阪営業所】

〒540-0036 大阪市中央区船越町1-3-4 ツリーモント宝永
TEL 06-6945-0818

製品のお取り扱い、メンテナンスやトラブルに関するお問合せ先

【UPS フィールドサービス】

〒368-0005 埼玉県秩父市大野原1200番地
TEL 0494-24-9321 , FAX 0494-24-6457

株式会社ユタカ電機製作所